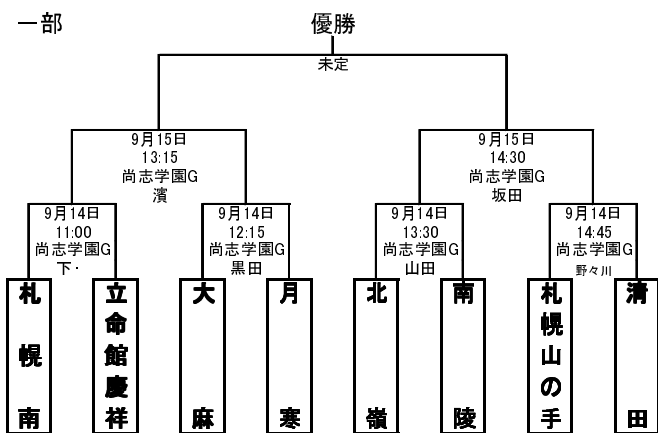




**2002-09-09**

## 新人戦組合せ



新人戦の組合せが決定しました。北嶺の「山」には南陵・山の手・清田と強豪校が集まってしまいました。勝ち抜くのはなかなか大変ですが、準決勝を勝てば、全道大会出場権を二年連続で獲得します。

### 第27回札幌地区高等学校ラグビー新人大会

1回戦 9月14日 13:30 尚志駒岡 G

北嶺 VS 南陵

準決勝 9月15日 14:30 尚志駒岡 G

北嶺 VS (山の手×清田)

## インターハイ善戦するも初戦敗退

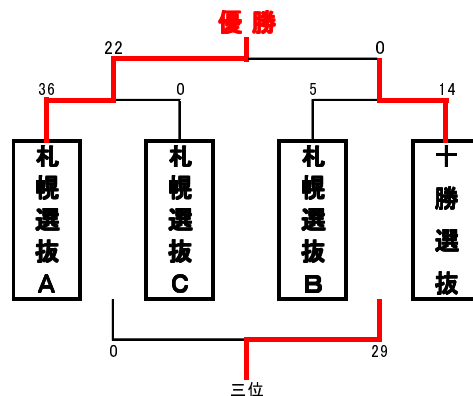
「花園」の予選となる選手権の予選が行われ、北嶺は4・5年生の新人戦チームで出場しました。他校は高校3年生中心のチームばかりの大会で、どこまで善戦できるかが課題でしたが、一回戦で立命館慶祥に7対45で敗れました。しかし、点差以上に善戦したと評価しています。この成果が新人戦につながってほしいと願っています。

## 高一大会全道三位

全道大会は全道から16チームが集まり、8月8日に予選リーグ、9日に決勝トーナメントが、帯広・帯広の森公園で実施されました。

予選Bグループ	札幌選抜B	函大有斗	小樽選抜	北見選抜A	順位
札幌選抜B	-	12対0 ○	24対0 ○	17対0 ○	1
函有大斗	0対12 ×	-	24対5 ○	24対0 ○	2
小樽選抜	0対24 ×	5対24 ×	-	0対21 ×	4
北見選抜A	0対17 ×	0対24 ×	21対0 ○	-	3

今年度、北嶺のラグビー部の4年生は札幌選抜Bの中核メンバーとして出場しました。予選リーグでは北嶺の選手が、相手チームのディフェンスを切り裂き、会心の結果がでました。



しかし、決勝トーナメントでは油断したのか、準決勝で十勝選抜に足下をすくわれてしまいました。しかし、部員達は今大会で大きな経験を積み、今後の活動の財産になるものだと信じています。

## 中学生大会準優勝

中学生大会は7月27日に北海道ラグビーの聖地・月寒ラグビー場で行われました。

2002/7/27	大麻中学	北白石中学	北嶺	順位
大麻中学	対角線	73対0 ○	45対12 ○	1
北白石中学	0対73 ×	対角線	0対109 ×	3
北嶺	12対45 ×	109対0 ○	対角線	2

第1試合で大麻が北白石中学を下した後、北嶺は第2試合で大麻と対戦しました。しかし、大麻の早い展開についていけず、大事なところでペナライズしてしまいます。どうにか2トライを奪ったものの45点を失い完敗しました。

続く第3試合では、北白石と対戦し、この試合で北嶺の選手が縦横無尽に走り回り、なんと109得点をあげ快勝しました。

学校祭の準備などで満足な練習が出来なかったことを後悔しています。来年は必ずリベンジします。

## 稲垣(六年)高知国体に出場

国体予選、選抜大会の全道大会で、北海道選抜の一員として選出されていた6年生・稲垣君が、正式に高知国体の代表選手として決定しました。北嶺から、国体北海道代表選手に選出されたのは、廣瀬先生(6期・筑波大学院・昨年度は本校時間講師)以来二人目です。インターハイで全道大会出場の経験のないチームから選出されるのは珍しいことです。

稲垣君は走力とコンタクトの強さに定評があります。北嶺の代表というよりも、道民の代表として全力を尽くしてほしいと考えています。

高知国体は、10月の中旬から高知県で開催されます。

## OB戦で得たものは・・・

7月28日に恒例のOB戦を行いました。

一期生、林OB会長中心に約20名のOBが集まり、現役チーム、高一大会チームとそれぞれ対戦しました。OBチームは、北大ラグビー部でプレーしている、9期・阿部や11期・久慈が中心になって、激しいコンタクトと巧みなパスワークを披露してくれました。

対する現役チームは、スピードとまとまりで対抗し、高一大会チームはがむしゃらさで、OBに立ち向かっていきました。

毎年、OB戦では技術はもちろん、ラグビーに対する情熱、北嶺ラグビー部としてのプライドを、再度、気づかせてもらっています。

## 筑波大学

夏休みに、道北・津別で行われている筑波大学ラグビー部の合宿を見学する機会がありました。筑波大学には本校OBの6期・廣瀬と9期・池田が在籍しています。合宿中の練習試合では二人ともレギュラーで出場していました。筑波は関東対抗戦一部の名門大学です。そこで活躍する二人のOBは、現役生の憧れであり、誇りであると思います。

大学ラグビーは秋からシーズンが始まります。今後、スポーツ新聞やTV等で二人が紹介されることがあるかもしれません。注目です。

